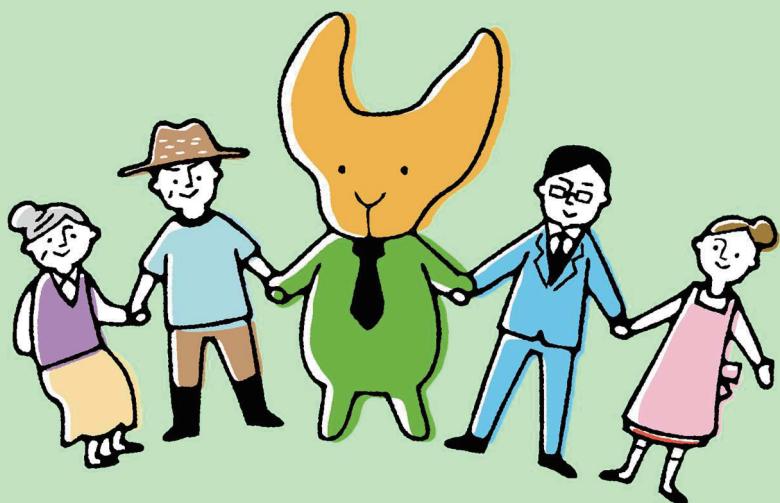


第3章

由布市のまちづくり活動



由布市では、それぞれの地域でまちを元氣にする取組がおこなわれています。どんなものがあるかみてみましょう。

いろいろな地域の「よいところ」を誰かに伝えたり、知ってもらう活動がたくさんあるよ。だれかをさそって行ってみよう！



ゆふし かんこうきょく 由布市まちづくり観光局

由布市には6つの観光協会と2つの旅館組合があります。それぞれの地域のよいところをたくさんの人々に知ってもらえるよう、日々活動をしています。由布市の観光協会が手を取り合って活動していくために「由布市まちづくり観光局」という団体ができました。平成30年4月にオープンする「由布市ツーリストインフォメーションセンター」を拠点にして活動します。



湯布院塚原高原
観光協会

由布院温泉
観光協会

湯平温泉
観光協会

はさま
由布川峡谷観光協会

由布院温泉
旅館組合

湯平温泉
旅館組合

庄内町
観光協会

由布市
観光協会

由布市ツーリストインフォメーションセンター (TIC)

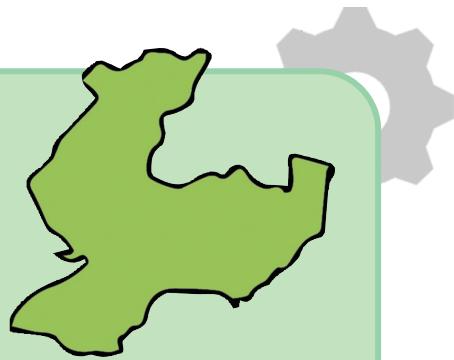
平成30(2018)年4月にオープンした由布市の観光拠点です。JR由布院駅のそばにあり、国内外の観光客が気軽に立ち寄れる場所となっています。建築家は、大分県立美術館も設計した坂茂氏で、ガラス張りの2階建てです。

(写真:由布市まちづくり観光局HPより)



ぶんごたいしょう 豊後大正口マン大湯鉄道物語

現在のJR久大本線がはじめて由布市を運行したときは、沿線の地域の人たちがお金を出しあつてつくった「大湯鉄道」という名前の鉄道でした。大正4(1915)年10月30日に大分市駅から小野屋駅までを開業しました。約100年前のことになります。大湯鉄道という名前は、「大分」から「湯平」まで走る鉄道という意味です。開業当時は、自動車はふきゅうする途中で、みんなの移動手段はバスや鉄道でした。湯平に行くにも、小野屋駅が終点だったため、小野屋商店街にはたくさんの人や馬車が行き来し、とてもにぎやかになりました。100年目の年は、実行委員会をつくり、小野屋駅などで記念イベントを行いました。



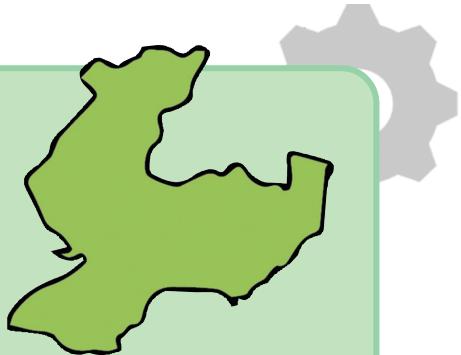
ゆふし けんきゅうかい のうそんみんぱく 由布市グリーンツーリズム研究会(農村民泊)

グリーンツーリズムとは、農家に泊まり、農業を体験したり農村の文化を体験できる旅行のひとつです。旅館やホテルに泊まる旅とは違った、その土地で暮らす人との交流や歴史を体験することができます。中学生が修学旅行で泊まりにきたり、海外のお客さまもたくさん受け入れています。

The website features a large green mountain icon with a sun and a figure, and the text "ゆふグリ". It includes sections for "温泉と農村民泊 あたたかな旅" (Hot springs and rural guesthouses, warm travel), "HOME", "宿泊施設紹介" (Introduction to accommodation facilities), "個性豊かな宿がみなさまをお迎え。どこにしようか、えらぶのもたのしい。" (Guesthouses with unique characteristics welcome everyone. Where should I go? Enjoy choosing.), "Q&A", "Google カスタム検索", and "SEARCH". Below the main image is a photo of a lush green landscape.

つじばしゃ 辻馬車

パッカパッカとひづめの音が心地いい辻馬車
は由布院観光の名物です。JR由布院駅をスター
トし、佛山寺から宇奈岐日女神社を通って由
布院駅に戻ります。由布院の穏やかな風を感じ
ながら馬車に揺られ、自然豊かな景色を
存分に味わうことができます。



湯布院の春を告げる辻馬車開き

辻馬車は、一年のうち、1月と2月は寒いのでお休みしています。毎年、3月のはじめに「辻馬車開き」が行われます。辻馬車開きが行われると、湯布院に春が来たなあと感じられます。当日は、馬車の運行安全祈願祭が行われます。



大地震から始まった湯布院のまちづくり

「牛喰い絶叫大会」や「湯布院映画祭」など、湯布院で行われている様々なイベントは、湯布院の観光温泉地としての歴史の中で、欠かすことのできない行事です。

そのきっかけは、昭和50(1975)年4月21日に起こった「大分県中部地震」でした。庄内町を中心として、各地が大きな被害を受けました。湯布院は大きな被害を免れましたが、「湯布院は壊滅的だ」という情報が広がり、観光客も減少します。そんな状況を打破するため始まったのが、「辻馬車」や「牛喰い絶叫大会」「湯布院映画祭」です。

辻馬車は復興の
シンボル
だったんだ！

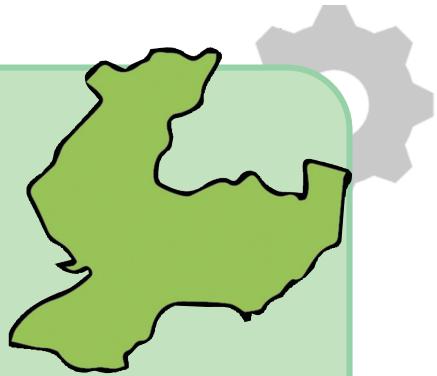


テレビドラマの舞台に！湯布院「風のハルカ」撮影地

「風のハルカ」は平成17(2005)年10月～平成18(2006)年4月にNHKの朝に放送されたテレビドラマです。この物語は、地元の環境資源を活用したユニークなまちづくりで成功するも、活性化された現状を次の世代にどう引き継いでいくかに悩む由布市の姿、そしてそこに生きる家族の試行錯誤を描いたものです。金鱗湖や由布院美術館、塚原小学校など、由布市内のいろいろな場所で撮影が行われました。

つかはらこうげん 塚原高原

由布岳の北側にある塚原高原は、標高600mのところにあり、みわたす限りに広がる丘陵地帯です。4世紀から人が住みはじめた伝統ある集落で、大分県ではじめて畜産をおこなった地区であるとされています。手つかずの自然に囲まれた高原は、四季折々に情景が変化し、訪れた人々に感動を与えます。今も、塚原高原の丘陵地は牧草地として営まれ、春になると、野焼きが行われ、あたり一面は真っ黒になりますが、すぐに新しい草が生え、美しい草原へと変わります。塚原高原のはしにある伽藍岳からは、今ももくもくと噴気がたちのぼり、地球の力強さを感じられる場所となっています。そのふもとにある塚原温泉「火口乃泉」は、全国の温泉のなかでも酸性度が高いことで有名です。



「日本でもっとも美しい村連合」に参加しています。

塚原高原温泉地は、平成23(2011)年に「日本で最も美しい村」連合に参加しました。「日本で最も美しい村」連合には、全国63の地域が参加しています。²「失ったら二度と取り戻せない日本の農山漁村の風景や環境・文化を守り、地域資源を生かしながら美しい村としての自立をめざす運動を展開する」を目的に活動している団体です。大分県内での参加は塚原高原のみです。

The screenshot shows the homepage of 'The Most Beautiful Villages in Japan'. At the top, there's a navigation bar with links for HOME, Find Villages, Articles, Photo Gallery, Information, and About. Below the navigation, there's a large image of a steamy, volcanic landscape with the text '塚原' (Tsukahara) overlaid. A sidebar on the left shows a small image of a village and the text 'く'. On the right, there's more text about Tsukahara, including its location '大分県由布市湯布院町' and links for 'WEBSITE' (http://www.city.yufu.oita.jp/) and 'SHARE'.

²63地域の内訳は、29町24村10地域 平成20(2018)年1月現在。

参考:NPO法人「日本で最も美しい村」連合ホームページ。 <http://utsukushii-mura.jp/about/overview/>

●聞いてみよう！～ゆふいんラヂオ局～●

ゆふいんラヂオ局は、由布市内の地域でFMラジオ放送(超短波放送)を行っています。ラジオとインターネットで毎日放送しています。四季にちなんだ音楽番組のほかに、地域で活やくしている人たちの活動を紹介します。ラジオのチューニングはFM 87.4 MHz。



このQRコードを読み取ると、ゆふいんラヂオがインターネットで聴けるよ！今日は、どんな音楽が流れているかな？どんな人が出てるかな？知っている人が出ているかもしれないね。



ぼうさい 防災ラジオ

由布市内で土砂くずれや地震などがおこったり、おこりそうになったときに、すばやくひつような情報を受けとることができる「防災ラジオ」をみなさんのが家にくばっています。何かがおこったときには、ラジオのスイッチが自動で入ります。他のラジオ局をきいている時は、自動で「ゆふいんラヂオ局」にかわって、緊急情報をお知らせします。



おうちにあるかな？



由布市げんてい!ご当地ナンバープレート

由布市ではご当地ナンバープレートとして、由布岳とゆるキャラ「ゆーふー」の描かれた原動機付自転車用のナンバープレートを交付しています。新規登録の際に通常のナンバープレートとどちらにするかを選択できるほか、すでに登録済みの車両であっても無料で交換することができます。



●探してみよう！●

1

ご当地ナンバープレートをつけたバイクを探してみよう。

みんなで健康、元気になろう～由布市健康立市

由布市は、平成25(2013)年3月に「健康立市 由布市」を宣言しました。

「ゆふ健康マイレージ」の取り組みや「ヘルスアップリーダー」の育成、「シニアエクササイズリーダー」の養成、ラジオ体操、水中運動教室など、いろいろな健康づくりをしています。

元気に生活するためには、きみがやっていることをおしゃてね！



健康マイレージ事業

一人ひとりの健康づくりをあとおしするための取り組みです。18歳以上の由布市民ならだれでも参加できます。「健康づくり3ヶ月チャレンジ」や、病院などの健康チェック(健診)、健康づくりのイベントに参加する事でポイントがたまります。たくさんポイントがたまつたらプレゼントがあります。

由布市健康立市宣言文

私たち今を生きる者は、次の世代が輝かしい時代であることを念じ、健康で安心して暮らせる街にするための責務を負っている。

由布市は、「由布市総合計画」の基本理念をもとに、市民一人ひとりがいのちの循環を大切にし、こぞって「健康立市」構築にむけた健康施策を積極的に推進することを誓い、ここに健康立市とすることを宣言する。

平成25年3月24日

由布市



けんこうおんせんかん 健康温泉館クアージュゆふいん

クアージュゆふいんでは、温泉をつかったプールで運動ができる場所です。ドイツの考え方を取り入れました。プールのほかにも、男女別のお風呂やトレーニングルームなどのいろいろな設備があります。たくさん体を動かした後にゆったりとした時間をすごすことができる場所です。



ゆふし すいしんきょうぎかい 由布市クアオルト推進協議会

由布市では、温泉や自然をいかして、滞在しながら健康になれる温泉地づくりを進めるため、「クアオルト」という考え方をとりいれてプログラムをつくっています。「クアオルト」とは、ドイツの言葉で、「療養地や健康保養地」という意味です。湯布院のまちをつくるなかで、ドイツに行って勉強をしてはじめました。「由布市クアオルト推進協議会」が中心となって活動しています。また全国でクアオルトに取り組むなかまとともに「日本クアオルト協議会」を立ちあげました。



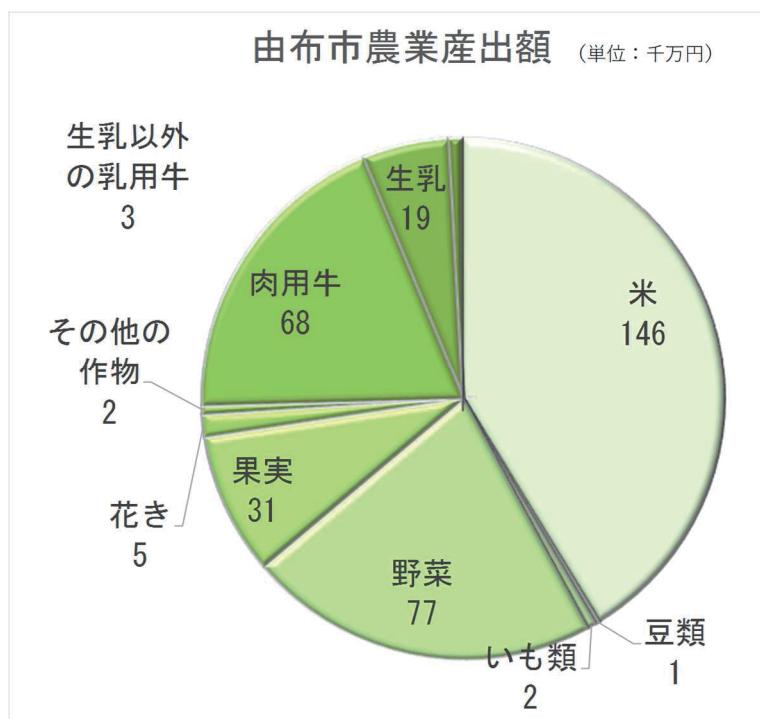
由布市のしごと

由布市にはいろいろな仕事があります。たくさんの種類の仕事が地域にあることで、わたしたちのくらしは、なりたっています。由布市のおもな仕事を紹介します。



由布市の第1次産業

第1次産業とは、おもに自然のめぐみを使って、わたしたちの食べるものを作る仕事です。農業、林業、水産業、畜産業などがあてはまります。野菜を育てたり、魚を探る、育てる、牛やにわとりを育てるということを仕事にします。



由布の農業の産出額は、

第1位：お米

第2位：野菜

第3位：肉用牛

第4位：果実

となっています。

今日、たべたお米は、
どこでとれたお米かな？

出典：都道府県単位、農林水産省「都道府県別農業産出額及び生産農業所得」、市区町村単位、農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」平成27(2015)年データ



にほん たなだ せん えら ゆふがわおくづめ たなだ 「日本の棚田100選」に選ばれた由布川奥詰の棚田

由布市の農業は、お米作りが中心です。一年を通して、田んぼのいろいろな変化を見ることができます。由布市には、たくさんの棚田があり、わき出るおいしい水を使っておいしいお米が育ちます。なかでも、挿間地域の由布川沿いにある棚田のなかで「由布川奥詰の棚田」が「日本の棚田100選」³に選ばれました。



棚田の名称	よみかた	市町村名
由布川奥詰	ゆふがわおくづめ	由布市
内成棚田	うちなりたなだ	別府市
軸丸北	じくまるきた	豊後大野市
山浦早水	やまうらそうず	玖珠町
羽高棚田	はだかたなだ	中津市
両合棚田	りょうあいたなだ	宇佐市

大分県の棚田の広さは全国4位！だけど棚田は耕作しにくいのでどんどん米作りをするひとが少なくなっているんだ。大分県では、「豊のくに棚田サポートくらぶ」というクラブをつくって、草刈りや稲刈りなどをやっているよ！



平石棚田
庄内町平石地区も
素晴らしい
棚田があるよ！

³農林水産省は、棚田を守ることの必要性を広く国民に呼びかけるために、平成11(1999)年に全国134地区(117市町村)を「日本の棚田百選」として認定しています。大分県からは、6地区が認定されています。

学校給食に由布市の野菜を届ける プロジェクト！

由布市でとれた野菜を、由布市のなかで食べる機会をふやせるように、市内の学校給食で使う野菜を由布市の農家さんに作ってもらう取り組みをすすめています。学校給食で出てくる、にんじん、じゃがいも、たまねぎはおもに由布市で育ったものです。



畜産（牛の繁殖、肥育、酪農）

由布市では、牛の畜産業がさかんです。湯布院地域塚原高原は、大分県ではじめて畜産をはじめた場所といわれています。牛のはんしょく（たくさん産んでふやすこと）や、肥育（子どもの牛を大きく育てるここと）、酪農（乳をしぶって、牛乳やチーズなどにすること）の農家があります。大分県では、山に囲まれた土地をいかして、田うえをされなくなった田んぼやくぬぎの林で放牧（広い土地で自由に動けるように飼育すること）をすすめています。由布市でも、草原だけでなく、棚田の中に牛を見ることがあります。



のや 野焼き

はる春がくるまえに野焼きを行います。野焼きによってきれいな草原をいじすることができます。もえた草がひりょうになり、牛が食べるおいしい草が育ちます。野焼きにはきけんもありますが、野焼きをしなければ草や木がはえ、草原に戻すことがむずかしくなるのです。



しょうない あかなし 庄内の赤梨

梨の名産地、庄内の梨は実が熟す時に袋をかけず、梨の実がよく熟れた色になるために「庄内の赤梨」として有名です。ほとんどの農家は全国の特定のお客様に直接販売するので、通常では市場へほとんど出荷されることはありません。国道210号沿いを中心とした梨ロードにはたくさんの直売所が並んでいます。



幸水、豊水、二十世紀、新高、愛宕などの品種が作られているよ。大分県内では、由布市や日田市、中津市などが主な産地なんだ。



イチゴ

「さがほのか」を主流に「とよのか」や「ベリーツ」が生産されています。
「さがほのか」を使用した手作りのいちご酢「苺ビネガー」なども販売されています。



ベリーツは大分県が8年をかけて開発したオリジナルの品種だよ。ストロベリーとスイーツを合わせてつくられた名前だよ。



あまねぎ

やわらかい食感と、ふつうの白ねぎよりも甘みがあるのが特徴。11月から2月ごろが収穫時期です。



トマト

庄内地域の阿蘇野地区を中心に生産される「桃太郎」は美容と健康に優れています。

ほうれん草

湯布院地域の涼しい気候を生かし、
おもに夏に生産されています。



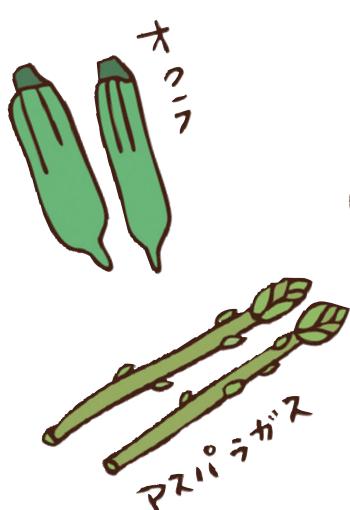
ゆず

湯布院の下湯平地域では、ゆずの
生産が盛んで、「ゆずごしょう」な
どの加工品は、おみやげとしても
人気があります。

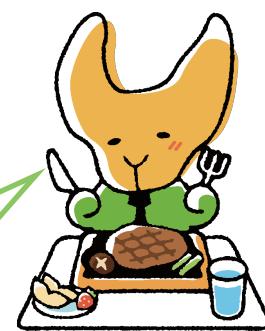


ブルーベリー

6月から7月の期間限定で、粒が大
きく皮が薄くて甘いのが特徴。ブル
ーベリージャムやヨーグルトなど
の加工品も販売されています。



その他にも、アスパラガス、オクラ、ナスなどが生
産されているよ。



スポーツ

おおいたけんりつ ゆふこうこう しゃげきぶ 大分県立由布高校 射撃部

ライフル射撃部がある学校は、大分県では2つの高校しかありません。
その1つが由布高校です。

由布高校の射撃部は大分県高等学校総合体育大会で、男女ともに総合優勝しています。男子はインターハイに出場したり、九州高校ライフル射撃新人大会でも優勝するなどすばらしい成果をあげています。

また、個人でも男女ともに多くの生徒が入賞し、全国選抜大会へ進んでいます。



ゆふいん盆地SPA健康マラソン

毎年秋になると、「湯ったり走ろう」をテーマに湯布院町でマラソン大会が行われます。2.7km、5km、10kmのコースを選ぶことができるのと、自分の体力に合わせて“ゆったり”と走ることができます。パフォーマンス部門があり、楽しく仮装して走る様子は、応援しても楽しいです。令和元(2019)年は、湯布院スポーツセンターを会場に、リレーマラソン形式で10ヶ月行われる予定です。夏から秋に移りゆく湯布院の自然を感じることができます。

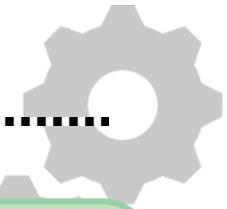


Yufuin Ride(ゆふいんライド)

由布院サイクリングライフ実行委員会を中心に
「自転車と共に生きる、共に暮らす生活」をテーマに、地域で暮らしている方に自転車を身近に感じてもらうことと、湯布院を訪れる方へ新たな魅力を発信するために、毎年開催しているサイクリング大会です。湯布院から安心院を周回する約70kmのロングコースと、初心者でも参加できる約35kmのショートコースの2種類があり、どちらも由布岳等の絶景を満喫できる魅力的なサイクリングコースを走行します。



由布市のまちづくりに貢献した人



くどうさんすけ 工藤三助

江戸時代前期から中期にかけて、由布市の農業にかかせない田んぼに水をひくために活やくした人です。本名は谷村理右衛門三助といいます。三助が生まれた谷村は水に恵まれず、米づくりにとても苦労していました。田んぼに必要な水をあつめるため、「野津原三渠」といわれる大竜井手（約6.7km）、鑰小野井手（約13.7km）、提子井手の3本の井手（井路）の開発に力を入れ、約700ヘクタールの農地をうるおしました。毎年、田植えの前になると井路の水恩祭が行われます。この祭りには三助の子孫が招待され、田んぼの水をひく前に感謝の気持ちを捧げます。

工藤三助にまつわる伝説～不動岩～

鑰小野井路をつくるとき、ある程度工事が進んだところでどうしても掘れない大きな岩が出てきました。この石を掘らないと井路はどうしてもつくれません。困り果ててお祈りしたところ、三助の夢の中に不動明王があらわれ、「石の上で火をたき、水をかけるといい」と言いました。そこで三助はさっそく言われたとおりにしてみると、岩が真っ二つに割れました。そして、工事を無事に終えることができました。

工藤三助と湯平の石畳

湯平温泉の中央に敷かれた情緒ある石畳は、約300年前の江戸時代の享保年間に病魔退散を祈願し、三助が建設したものです。



ごとうならね 後藤櫛根

ごとうならね ゆふし はさままちしゅっしん じどうぶんがくさっか
後藤櫛根は由布市挾間町出身の児童文学作家です。

ちい ふんがく きょうみ も さい わか どうようしゅう そら ひつじ
小さいころに文学に興味を持ち、16歳という若さで童謡集「空の羊」
を出版しました。教師をしながら童謡などの創作をしていましたが、
30歳の時に教師を辞めて作家になることを決めました。

しゅうせんご こころ な こ すがた こころ いた ならね
終戦後、心にゆとりの無くなった子どもたちの姿に心を痛めた櫛根
は、再び童話や童謡を盛り上げるために「日本童話会」を立ち上げま
した。

ほか ならね わか じどうぶんがくしゃ いくせい ちから い おお しょう じゅ
その他に櫛根は、若い児童文学者の育成にも力を入れ、多くの賞も受
賞しました。そして、ひたすらに児童文学の発展に力を注いだ櫛根の
作品は、今でも多くの人に読み継がれています。

～後藤櫛根の代表的な作品～

童謡集「空の羊」(大正13(1924)年16歳初めての自費出版)

童話集「光に立つ子」(昭和15(1940)年32歳本格的に童話制作を始める)

長編童話「黒潮の子」(昭和18(1943)年35歳教師初任地保戸島の子ども達を
モデルにした。望郷の念が強かった櫛根にとって思い入れの深い作品)

雑誌「月間童話」(昭和21(1946)年38歳以後平成4(1992)年までこの雑誌は
新人児童作家の登竜門となる)

●調べてみよう、やってみよう！●

1	図書館で後藤櫛根の作品を探してみよう。	
2	次のページの後藤櫛根の作品を音読してみよう。	

ごとうならね
～後藤椿根がつくった代表的な作品を紹介します～

月夜の棉畑
つきよ わたはたけ

月の夜さ
つきのよ

棉

の畠
わたけ

月

の夜
よ

さ

誰かが行くよな
だれかがいくよな

帰るよな
かえりよな

白くけむつて
しろくけむつて

棉の花
わたのはな

どこかで子供が
こどもが

呼んでいる
よ



空の羊
そらひつじ

母さま
かあさま

空にたくさんのか
そらにたくさんのか

羊がならんで行つてます
ひつじがならんでいってます

鳥も唄わぬ
とりうたはぬ

ひろ野原
のほら

それにさびしい夜も来よに
それにはびしい夜も来よに

ものも言わずに羊らは
いふことなしにひつじらは

母さま
かあさま

どこへ行くのでしよう
どこへいくのでしよう

あかい夕日に光らして
ゆうひにひかり

静かに空を行つてます
しずかにそらを行つてます



ごとうじゅんぺい 後藤順平

かえい ねん ゆふし しょうないちょうう だいげんにん べんこし めいじ
嘉永3(1850)年、由布市庄内町生まれの代言人(弁護士)です。明治3
(1870)年に豊後大分郡で農民一揆を起こして逮捕されました。その後、
なかつ おおいたけんたい こう だいげんにん べんこし あと
中津で大分県第1号の代言人(弁護士)となりました。西南戦争では中津
たい つく さいこうぐん くわ ばしょ たたか なかつ
隊を作つて西郷軍に加わり、いろいろな場所で戦いましたが、鹿児島の
しろやま つか めいじ ねん がつ にち さい しきい
城山で捕まり、明治10(1877)年10月20日27歳で処刑されました。

かとうまさと 加藤正人

ゆふし はさままちしゅっしん みんようけんきゅう だいいちにんしや おんがく せんせい
由布市挾間町出身の民謡研究の第一人者です。音楽の先生をしながら
おおいたけんない みんよう のこ かつどう ねん でんとう つるさき
大分県内の民謡を残す活動をしました。450年という伝統がある「鶴崎
おど えどじだい ふっかづ
踊り」のおはやしを江戸時代につくられたときのままに復活させまし
た。これがきっかけとなり、鶴崎踊りが国の選択無形民俗文化財に
してい ねんかん きょく つるさきおど くに せんたくむけいみんぞくぶんかさい
指定されています。50年間で2000曲をあつめたそうです。たくさんの
しりょう じたく ゆふしりつとしょかん たいせつ ほかん きちょうどう おんげん
資料は自宅と由布市立図書館に大切に保管されています。貴重な音源
は、別府大学の協力でデジタル化されました。